

変更の事由及び時期を記載した書類

事項		記入欄						備考
フリガナ	設置者	コウリツダイガクホウジントヤマケンリツダイガク 公立大学法人富山県立大学						
フリガナ	大学の名称	トヤマケンリツダイガク 富山県立大学						
大学本部の位置		富山県射水市黒河5180番地						
届出学部等の概要	届出学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年月 第 年次	
	工学部 知能ロボット工学科	4	70 (60)	— (—)	280 (240)	学士(工学)	令和4年4月 第1年次	富山県射水市黒河5180 番地
	情報システム工学科	4	70 (45)	— (—)	280 (180)	学士(工学)	令和4年4月 第1年次	
計		140 (105)		560 (420)				
変更の事由		<p>○ 変更の事由</p> <p>富山県立大学工学部知能ロボット工学科及び情報システム工学科の入学定員及び収容定員を変更することに伴い、学則を一部変更する。</p> <p>(1) 入学定員及び収容定員変更の趣旨及び必要性</p> <p>本学の第2期中期目標(令和3～8年度)では、①教育面では、デジタル化が進展する時代の実社会で活躍できる人材を育成し、県内定着を図ること、②研究面では、「地域の知の拠点」として、産学官金・医療機関等との連携の強化を図り、県内産業、地域保健医療の発展に貢献する研究を推進すること、③デジタル化の進展に対応した教育を推進し、産学官金の連携教育研究拠点となる施設・設備を充実することなどが目標として掲げられている。</p> <p>こうした目標に応えるため、本学の第2期中期計画においても、①教育面では、デジタル化の進展に応じた人材の育成に向けたカリキュラムの充実を図る、②デジタル化の進展に対応した産学官金の連携教育研究拠点となるDX教育研究センター(仮称)を整備する、③研究面では、同じく、DX教育研究センター(仮称)を整備し、デジタル化の進展に対応した研究を推進する、④デジタル化の進展や産業界等のニーズ等に応え、県内企業への人材供給を一層促進する、とされているところで、AI、IoT、ビッグデータ等の分野の高度な専門知識を有する人材を今まで以上に育成するため、これらの分野を対象とする知能ロボット工学科及び情報システム工学科の入学定員及び収容定員を増員するとともに、併せて教員数も増員することとした。</p> <p>(2) 学則の変更内容</p> <p>① 知能ロボット工学科 入学定員を60名から70名に、収容定員を240名から280名に変更。</p> <p>② 情報システム工学科 入学定員を45名から70名に、収容定員を180名から280名に変更。</p> <p>(3) 学則の変更を要しない変更事項(教員数の変更)</p> <p>教養教育センター、知能ロボット工学科及び情報システム工学科において、令和4・5年度の両年度に計12名の教員定数増を図ることとし、配置する講座、担当する科目及び配置時期については、今後検討する。</p>						
変更の時期		令和4年4月1日						